

平成 30 年度 上田市立神科小学校グランドデザイン

学校経営の方針

- 笑顔とあいさつにあふれ、明るく楽しい学校
- 自己有用感を育む授業・学校
- 安全・安心な学校
- 保護者・地域と共に歩む学校

学校教育目標

落ち着いたあり
笑顔輝く楽しい学校
やさしさ かしこさ たくましさ

保護者・地域の願い

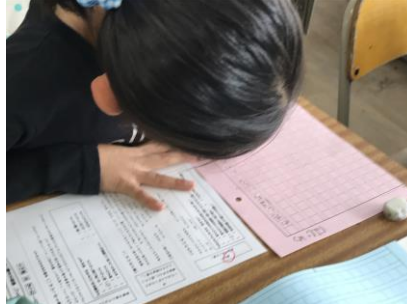
- あいさつのできる子どもに
- 学習がしっかり身につく子どもに
- 安心して安全に登校できる学校に
- いじめがなく、支え合う仲間作り
- 情報を発信する開かれた学校に

本年度の重点

ことばを大切にする子



ねばり強くがんばる子



自分や友だちを大切にする子



具体的な方策

- ①児童会を中心としたあいさつ運動の継続
- ②「神科っ子ことば名人」の実践
 - ・「はい」「～ます」「～です」を大切にする
 - ・自分の考えや思いをしっかりとことばで「発信」する
- ③なかよし学級など、異年齢交流の充実
- ④人とのつながりを大切にした総合的な学習の時間

- ①分かる・できる 授業づくり
 - ・「ねらい」「めりはり」「みとどけ」が明確な授業
 - ・「体験」「対話」「発信」を大切にする授業
 - ・ドリルなどによる基礎学力の充実
 - ・少人数学習の実施（5・6年）
 - ・外国語教育の推進（3～6年）
- ②標準テストによる評価とその分析を生かした指導
- ③外遊びやマラソンによる体力向上
- ④生活・学習ノート「紡ぐ」や「家庭学習の手引き」の活用による家庭学習の充実

- ①一人ひとりのよさが大切にされ、自己有用感の感じられる学級経営
- ②「Q-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）」の実施・分析・活用
- ③一人ひとりを大切にする「さん」「くん」呼び
- ④子どもとの対話を大切にする相談週間
- ⑤自分と友だちのよさに目を向ける「なかよし月間」（人権教育）

誰もが安心して学べる教室にします

- ・「ユニバーサルデザイン」に基づく教室環境づくり、授業づくり
- ・個に応じた指導・支援を行う、チーム支援体制の構築
- ・機器を活用した学習指導や個別支援
- ・支援学級との交流と共同学習（特別支援教育）
- ・幼稚園・保育園からのスムーズな接続を目指す、1年「スタートカリキュラム」

学外との連携・交流を大切にします

- ・来入児や、「ともいきライフ」「ほのぼの」等の外部施設との交流
- ・地域の「人」「もの」「こと」に目を向けた、総合的な学習の時間
- ・中学校との授業連携（6年算数）
- ・幼稚園・保育園との連携や児童との交流
- ・ボランティアによる学校・学習支援

このようなことにも力を入れていきます

ボランティアの皆様と連携し、地域と学校で創るコミュニティースクールを推進します

- ◆学習支援…教科T Tで支援、読み聞かせ
- ◆安全支援…「ふれあい隊」の組織・活動の見直し、危険箇所点検
- ◆学校行事の支援…各種行事の準備や片づけ 当日の支援
- ◆児童との交流…ボランティアルームの活用
- ◆校外学習支援…校外行事の付き添い支援
- ◆環境整備支援…畑や花づくり支援
- ◆体験活動支援…ボランティアによるスポーツ大会、地区行事、夏休みわいわい塾（公民館活動）